

監查事務局

(1) 監査事務局予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景

監査委員は、地方自治法により設置された市長から独立した執行機関です。

監査委員の事務を補佐する監査事務局は、監査委員の指揮監督の下、監査を効率的かつ効果的に実施するため、監査計画を策定し、計画的に監査を実施しています。

昨年、東日本大震災では、防災やエネルギー等市民の生活にかかわる課題が浮き彫りになりました。また、少子高齢化対策など、社会保障関係経費の増加により、重点的であり、より効率的な市政運営が求められています。

一方、経済が停滞する中で市税収入は低迷しており、さらに欧州債務危機や円高等を背景として経済の先行きは依然不透明であり、市財政を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くと思われま。

市に限られた経営資源を効果的、効率的に活用することで最大の成果を生み出す行政運営と行政の透明性が図られているか検証することが、監査の役割として従来にも増して重要となっています。

◆予算編成の考え方

監査に当たっては、「市民視点の監査」「市民に開かれた監査」「行政の改革に寄与する監査」などを基本方針として行財政運営が公正かつ効率的に運営されるよう監査を実施します。

◆予算の概要

監査事務局予算は委員費389万7千円です。これは、定期監査として行う各部の財務監査や一般会計・特別会計・病院事業会計の決算審査など、各種監査業務に必要な経費を計上しています。

主な内容は、次のとおりです。

(1) 識見の監査委員1名と議会選出の監査委員2名、計3名の非常勤監査委員の報酬304万8千円

(2) 監査関係図書の追録代などの消耗品費33万9千円

(3) 工事監査に際して技術的、専門的な調査を技術士に委託する費用である工事監査調査業務委託料18万円

(4) 監査事務に関する各種研修会の研修負担金5万5千円

(5) 全国、関東、東京の各都市監査委員会負担金17万3千円

(2) 2012年度 監査事務局予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	目	2012年度	2011年度	比較	事業名
2 総務費						
6 監査委員費						
		1 監査費	3,897	4,141	△ 244	委員費
合 計			3,897	4,141	△ 244	

監査事務局予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2012年度	3,897	0	0	0	0	3,897
2011年度	4,141	0	0	0	0	4,141
比 較	△ 244	0	0	0	0	△ 244

(3) 事業別支出科目一覧

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
2	6	1	監査費		3,897
			02 委員費	監査事務局	3,897
			監査委員報酬		3,048
			費用弁償		13
			普通旅費		34
			消耗品費		339
			複写機データ消去手数料		11
			工事監査調査業務委託料		180
			複写機使用料		44
			研修負担金		55
			関東都市監査委員会負担金		22
			全国都市監査委員会負担金		116
			東京都市監査委員会負担金		35

(4) 事業の説明

一般会計		款 2	項 6	目 1	監査費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2012年度	3,897	0	0	0	0	3,897
2011年度	4,141	0	0	0	0	4,141

2 委員費 3,897 千円

担当 監査事務局 予算書 161 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,897

定期監査は重点監査事項を設定し取り組みます。

工事監査は、工事に係る専門的、技術的な調査を技術士に委託して実施します。

財政援助団体等監査は、市が補助金等の財政援助を行っている団体等の出納等の事務について監査を実施します。

決算審査(一般会計・特別会計・病院事業会計)は、決算その他関係諸表の計数の正確等を検証し審査します。また、決算審査と同時期に健全化判断比率等審査、基金運用状況審査を実施します。

例月出納検査は、毎月例日を定め、各会計の現金の出納を検査します。

主な事業費 監査委員報酬 3,048千円
 工事監査調査業務委託料 180千円



監査等の主な内容と実施回数

定期監査(工事監査を含む)	年2回以上	
財政援助団体等監査	年1回	
決算審査	一般会計	
	特別会計	年1回
	病院事業会計	
例月出納検査	月1回	